

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「225インデックスファンド」は、2020年10月29日に第34期決算を行いました。

当ファンドは日経平均株価採用銘柄のうち200銘柄以上の株式に原則として等株数投資を行い、日経平均株価と連動する投資成果を目標に運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

225インデックス ファンド

商品分類 (追加型投信/国内/株式/インデックス型)

第34期 (決算日 2020年10月29日)

作成対象期間: 2019年10月30日~2020年10月29日

第34期末 (2020年10月29日)	
基準価額	5,374円
純資産総額	3,073百万円
第34期	
騰落率	2.9%
分配金合計	92円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

<閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書(全体版)」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

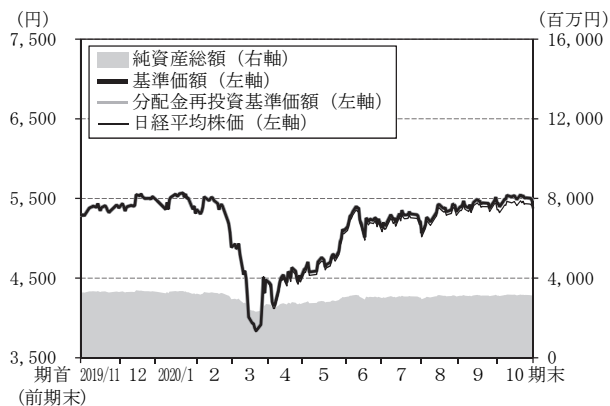
投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移



第34期首：5,310円

第34期末：5,374円（既払分配金92円）

騰落率：2.9%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2019年10月29日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ベンチマークは日経平均株価です。詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

日経平均株価に連動する投資成果を目指し、日経平均株価採用の225銘柄に投資を行いました。このため、株式市場が上昇したことにより、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019/10/30～2020/10/29		
	金額	比率	
平均基準価額	5,142円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	30円 (16) (8) (6)	0.583% (0.308) (0.165) (0.110)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	2 (0) (2)	0.038 (0.003) (0.035)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	0 (0) (0)	0.006 (0.005) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託に係る手数料
合計	32	0.627	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

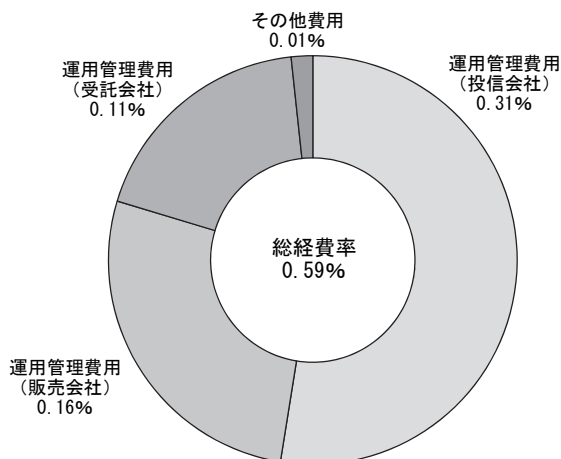
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.59%です。



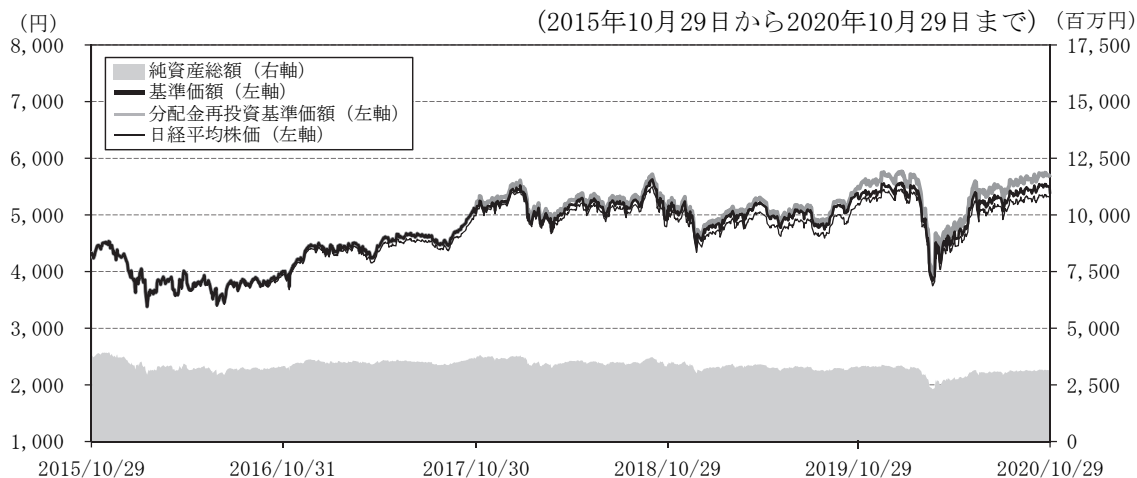
(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2015年10月29日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2015年10月29日 期初	2016年10月31日 決算日	2017年10月30日 決算日	2018年10月29日 決算日	2019年10月29日 決算日	2020年10月29日 決算日
基準価額（分配落） (円)	4,290	4,002	5,037	4,904	5,310	5,374
期間分配金合計（税込み） (円)	—	0	80	0	103	92
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△ 6.7	27.9	△ 2.6	10.4	2.9
日経平均株価騰落率 (%)	—	△ 8.0	26.3	△ 3.9	8.6	1.6
純資産総額 (百万円)	3,752	3,329	3,656	3,311	3,262	3,073

■ 国内株式市況

日経平均株価は、期初から2020年2月上旬にかけては、国内企業業績の改善期待と米中通商協議の先行きや香港情勢を巡ってしばらく一進一退の動きが続きましたが、1月下旬に中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、インバウンド需要の低下や世界経済の減速が懸念され軟調な展開となったものの、好調な米国株式市場や中国の経済対策への期待から堅調な動きとなりました。2月中旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染が欧米などアジア以外の地域にも拡大し、各国で非常事態宣言が相次いだことや対外渡航及び入国禁止などの措置が拡大したことで、世界的な景気減速懸念や企業業績の先行き不透明感が高まり、世界的に株式相場が大きく下落しました。3月下旬から6月上旬にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）をはじめ、各国中央銀行や各国政府が金融・財政対応発表を行ったことにより反発し、その後は、欧米で新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向となり、経済活動の再開期待が高まったことや国内での緊急事態宣言の解除による経済活動再開への動きを背景に上昇推移しました。6月中旬から10月上旬にかけては、米中対立悪化懸念や新型コロナウイルスの感染第2波への懸念から下落する場面もありましたが、米中の景気指標改善、新型コロナウイルスのワクチン開発や経済活動正常化への期待感から底堅く推移しました。10月中旬から期末にかけては、欧米で新型コロナウイルスの感染者数が再び増加に転じ、一部の国と地域が感染拡大阻止を目的とした行動規制措置を再び導入したことで経済活動や企業業績への懸念が強まり軟調推移となりました。

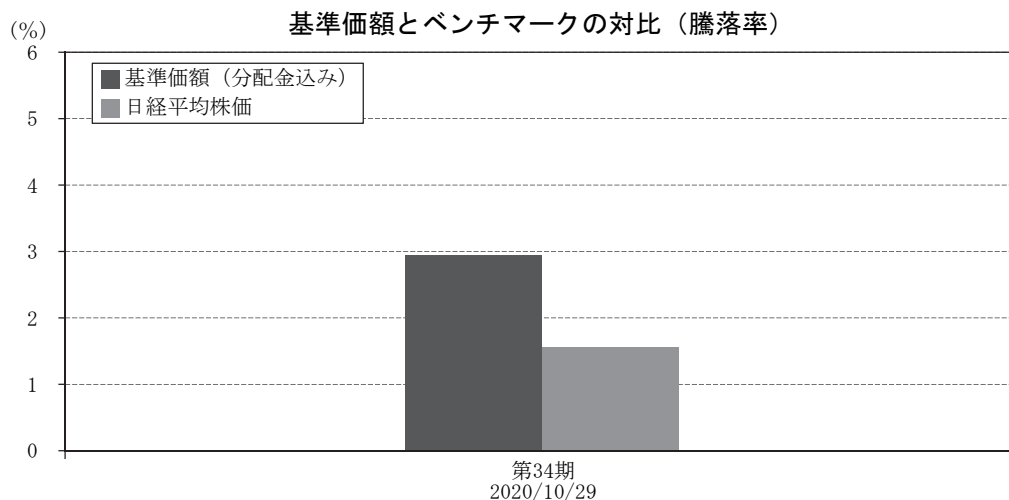
この結果、日経平均株価は23,331.94円で期末を迎えました。

当該投資信託のポートフォリオ

日経平均株価に連動する投資成果を目指し、日経平均株価採用の225銘柄に原則として等株数投資（みなし額面調整後）を行うとともに株価指数先物により調整し、現物株式と先物を合わせた組入比率を概ね高位に保ちました。

組入銘柄につきましては、日経平均株価構成銘柄の入替えに合わせて、2020年7月にソニーフィナンシャルホールディングスを売却し、日本取引所グループを購入、9月に日本化薬を売却し、ソフトバンクを購入、10月にファミリーマートを売却し、ネクソンを購入しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異



期中の基準価額騰落率（分配金込み）は2.9%上昇となり、1.6%上昇した日経平均株価と1.4%の乖離が生じました。この乖離は、保有株式の配当金等のプラス要因と信託報酬等のマイナス要因の差額により発生しています。

分配金

1万口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準や日経平均株価の配当利回り等を勘案し、92円とさせていただきます。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	当期
	2019年10月30日 ～2020年10月29日
当期分配金	92
（対基準価額比率）	1.683
当期の収益	65
当期の収益以外	26
翌期繰越分配対象額	5,538

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

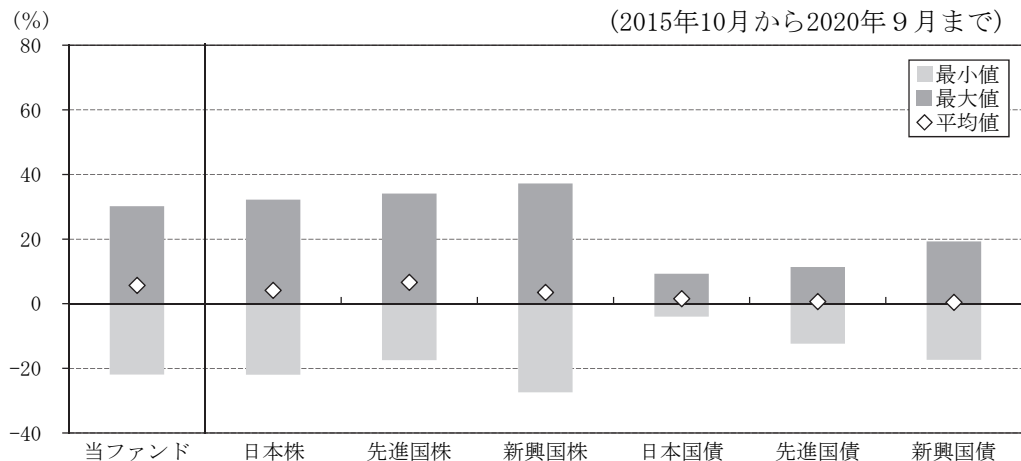
現物株式と株価指数先物を合わせた組入比率を高位に維持するとともに、売買コストの低減に努めるなど運用の効率化も図り、日経平均株価に連動する投資成果を目指して運用を行います。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／国内／株式／インデックス型
信託期間	1986年10月30日から2026年10月29日まで
運用方針	日経平均株価に連動する投資成果を目標に運用を行います。
主要運用対象	わが国の金融商品取引所に上場されている株式のうち、日経平均株価に採用された銘柄を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

【参考情報】

■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	5.7	4.2	6.6	3.5	1.6	0.7	0.5
最大値	30.2	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 21.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

(注) 上記は、2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株・・・MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※詳細は後述の「指数に関して」をご参照ください。

当該投資信託のデータ

当該ファンドの組入資産の内容

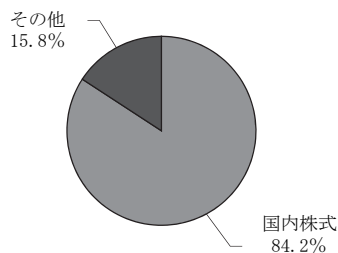
■ 上位10銘柄 (組入銘柄数：225銘柄)

銘柄名	当期末	
	2020年10月29日	
	業種	比率
ファーストリテイリング	小売業	9.5%
ソフトバンクグループ	情報・通信業	5.4
東京エレクトロン	電気機器	3.8
ファナック	電気機器	2.8
ダイキン工業	機械	2.6
エムスリー	サービス業	2.2
KDDI	情報・通信業	2.2
テルモ	精密機器	2.0
信越化学工業	化学	1.9
京セラ	電気機器	1.7

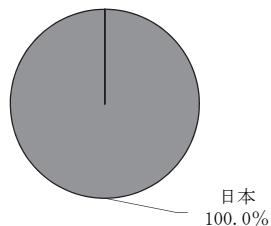
■ 先物取引の状況

銘柄名	買建/売建	当期末
		2020年10月29日
		比率
日経225mini	買建	15.6%

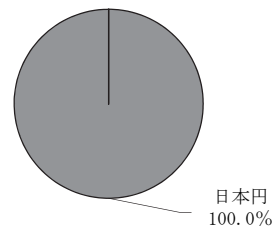
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注) 先物取引の状況の比率は純資産総額に対する買建額の割合です。
 (注) 国別配分は発行国を表示しております。
 ※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

純資産等

項目	当期末
	2020年10月29日
純資産総額	3,073,513,928円
受益権総口数	5,719,064,618口
1万口当たり基準価額	5,374円

(注) 期中における追加設定元本額は264,811,894円、同解約元本額は477,202,772円です。

指数に関して

○当ファンドの指数について

当ファンドは日経平均株価【出所：日本経済新聞社】をベンチマークとしております。

日経平均株価

- ①「日経平均株価（日経平均）」は、株式会社日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって、算出される著作物であり、株式会社日本経済新聞社は、「日経平均」自体及び「日経平均」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。
- ②「日経」及び「日経平均」を示す標章に関する商標権その他の知的財産権は、全て株式会社日本経済新聞社に帰属しています。
- ③本件投資信託は、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、株式会社日本経済新聞社は、その運用及び本件受益権の取引に関して、一切の責任を負いません。
- ④株式会社日本経済新聞社は、「日経平均」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延又は中断に関して、責任を負いません。
- ⑤株式会社日本経済新聞社は、「日経平均」の構成銘柄、計算方法、その他、「日経平均」の内容を変える権利及び公表を停止する権利を有しています。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、東証第一部上場全銘柄の時価総額を基準時の時価総額で除して算出したわが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI コクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

NOMURA－BPI 国債

NOMURA－BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPMorganGBI－EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPMorganGBI－EMグローバル・ディバーシファイドは、JPMorgan社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPMorgan社に帰属します。